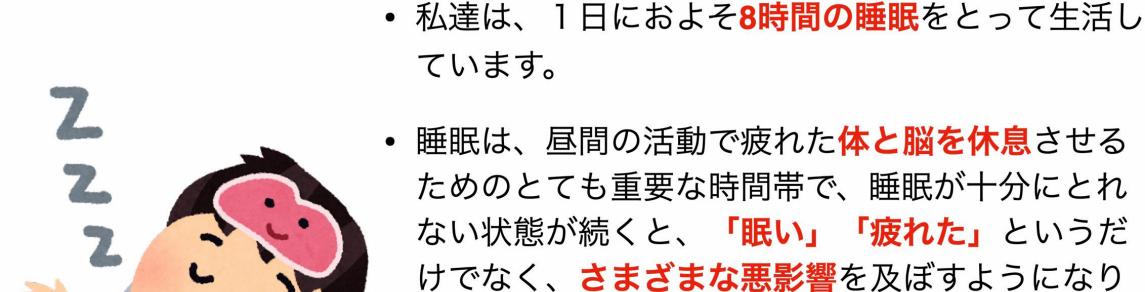
CPAP療法について

睡眠時無呼吸症候群



ます。

睡眠時無呼吸症候群



- SAS(Sleep Apnea Syndrome,睡眠時無呼吸症候群)は、眠っているときに無呼吸状態になる病気です。
- 無呼吸状態とは、呼吸が10秒以上止まっていることを指し、この状態が1時間あたり5回以上あると睡眠時無呼吸症候群(SAS)となります。
- SASでは、体に取り込まれる酸素の量が少なくなって、 さまざまな臓器に障害をもたらす上に、日中に眠くなり 活動が低下するなど、社会生活にも影響を及ぼすように なります。

CPAPとは

- スクリーニング検査でAHI(睡眠時無呼吸指数)が20以上ある患者さんには、CPAP治療が推奨されています。
- CPAPとは、鼻や口に装着したマスクから空気を送りこむことによって、ある一定の圧力を気道にかける方法です。
- Continuous Positive Airway Pressureの頭文字
 をとってCPAP(シーパップ)と呼びます。



当院のサポート体制

CPAP専門外来 (SASセンター)

- 当院では毎月、患者さんのCPAPの使用状況をモニタリングし、最適な処方やマスクで無呼吸を治療することはもちろん、快適に使っていただくための様々なアドバイスを行う体制を構築しています。
- CPAPに慣れて、良い結果が出るまでの間は毎月来院(対面診療)して頂き、その後は遠隔診療(ただし3ヶ月に1回は対面診療必須)に移行することも可能です。

